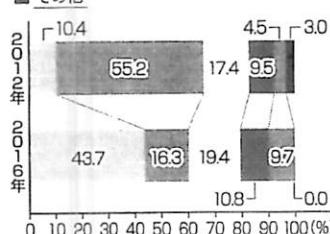


「お母さんに抱っこしてもらったら泣きやんだね」。生後4日目の男児を抱く母親のケアに努める助産師=姫路市下手野1



産科混合病棟での助産師の患者の受け持ち方  
(日本看護協会調べ)

- 他科患者と産婦を同時に受け持つ
- 常に他科患者は受け持たない
- 分娩介助時のみ他科患者は受け持たない
- 分娩第1期の産婦が入院した時点で、他科患者は受け持たない
- 無回答
- その他



# 広がる「産科混合病棟」

「食事や排せつの中助が必要な患者の世話が増えている。終末期の患者の看護もあり、常に優先順位をつけて動かないといけない」  
姫路赤十字病院(姫路市)にある産科混合病棟の助産師2人が、病棟の厳しい現状を訴えた。

同病院の産科混合病棟は、産婦人科・内科・小児科からなる。女性のみの50床で、認知症高齢者の急性期患者や、子宮がん患者ら術後のケアが必要な人まで

## 神戸のシンポで実態報告

さまざまな患者が入院する。産婦を待たせてしまうこともあるといい、助産師は受け持たない」とした施設も19・4%あり、出産前に「アロとしてもっと丁寧にお産に携わりたい」と本音を語る。

2016年に日本看護協会(東京都)が全国のお産を取り扱う526施設について行った調査によると、産科のみの病棟は全体の22・5%にとどまる。一方で、約3割が婦人科との混合で、婦人科以外の診療科との混合病棟は約半数に上った。

また、助産師の患者の受け持ち方については、「他科患者と産婦を同時に受け持つ」と回答したのが10・4%だった。15年

の調査結果から急増した。「分娩介助時のみ他科患者は受け持たない」とした施設も19・4%あり、出産前後の不安な産婦に十分なケアができない現状が浮かび上がった。

今月7日、神戸市内で開かれた「日本母性衛生学会総会・学術集会」のシンポジウムでは、医療・看護関係者や専門家らが、混合病棟の実態や課題を報告。参加した助産師からも「歯科や皮膚科との混合になり、モチベーションが下がっている」「男性の認知症患者が歩き回っている」など問題点を指摘する声が上がった。

「病院側は経営上の理由から、産科の空き床を減らしたいと考えがある」と、神

## 少子化で空きベッドに一般患者 助産師が産婦以外も同時に看護

少子化の影響で、産科が婦人科や内科などの診療科と病棟を共有する「産科混合病棟」が全国で広がっている。出産数の減少で発生した空きベッドを病院側が埋めようとするためだ。お産や産後ケアを専門とする助産師が、産婦と他科の患者を同時に受け持つケースも急増しており、出産環境の質の低下や院内感染の危険性を懸念する声が上がっている。

(貝原加奈)



産科混合病棟の課題について、多角的に共有したシンポジウム=神戸市中央区港島中町6

## 人手不足、院内感染の危険性指摘



△子育て面は日曜掲載です。

7%の施設で「他科患者と産婦を同時に受け持つ」と回答したのが10・4%だった。15年

の調査結果から急増した。「分娩介助時のみ他科患者は受け持たない」とした施設も19・4%あり、出産前後の不安な産婦に十分なケアができない現状が浮かび上がった。

今月7日、神戸市内で開かれた「日本母性衛生学会総会・学術集会」のシンポジウムでは、医療・看護関係者や専門家らが、混合病棟の実態や課題を報告。参加した助産師からも「歯科や皮膚科との混合になり、モチベーションが下がっている」「男性の認知症患者が歩き回っている」など問題点を指摘する声が上がった。

「病院側は経営上の理由から、産科の空き床を減らしたいと考えがある」と、神

産科混合病棟の課題について、多角的に共有したシンポジウム=神戸市中央区港島中町6

置人數について、日本では特に法的な基準ではなく、病棟では、助産師も看護師も同じ看護職員として、7人の患者に対し1人の割合で配置される。ただし、産科混合病棟では「患者の死」など出産の看護が重なるケースもあり、現場では明らかに人手不足になっている」と

齋藤教授。大阪急性期・総合医療センターの小児科医からは、「他科の成人患者からの院内感染の危険性が高まる懸念も報道された。

母親の立場から、「日本妊娠支援協議会りんごの木」代表の古宇田千恵さん

は、「つらい出産体験から、育児不安につながる人もいる」と指摘。「出産前

後の助産師の励ましや関わ

り方次第で、母親として自信

が持てるようになると出

産前の丁寧なケアを求め

た。

最後に「マンツーマンで

助産師が産婦につける雰囲

気を、現場からうついて

きたい。ケアの大切さにつ

いて、私たち助産師が声を

上げよう」と姫路赤十字病

院の太田加代看護部長(53)

くが参加者に呼び掛け、締め